

2024年11月15日
株式会社吉野家
株式会社出前館
パナソニック ホールディングス株式会社

吉野家、出前館、パナソニック HD が 自動搬送ロボットによるフードデリバリーサービス実証を実施

株式会社吉野家(以下、吉野家)、株式会社出前館(以下、出前館)、パナソニック ホールディングス株式会社(以下、パナソニック HD)は、神奈川県藤沢市で吉野家のメニューを自動搬送ロボットで住宅まで配送するフードデリバリーサービス実証を2024年11月15日から11月21日まで実施します。本実証では、Fujisawa サステナブル・スマートタウン(以下、Fujisawa SST)内の全住宅を対象に、出前館のアプリで注文された吉野家 湘南新道辻堂店のメニューをパナソニック HD の自動搬送ロボット「ハコボ」を用いて配送します。

コロナ禍を経て、ライフスタイルが大きく変化する中、飲食業界ではテイクアウトやデリバリーの利用が拡大しています。吉野家では、より多くの方々が立地や環境の制約を受けずにもっと手軽にご利用いただけるようデリバリーの活用を進めており、将来に向けて新たなテクノロジーを積極的に活用することで更なる利便性の向上に取り組んでいます。

デリバリーサービスを提供している出前館では、「地域の人々の幸せをつなぐライフインフラ」をビジョンとして掲げています。食料品アクセス問題や人手不足などの社会課題解決に寄与し、あらゆる人々に商品をお届けできる社会の実現に貢献するため、ロボットを活用した自動搬送の実証実験に取り組んでいます。

パナソニック HD では、少子高齢化による労働力不足に対して、自動搬送ロボットを活用したサービスの実用化に取り組んでおり、神奈川県藤沢市や茨城県つくば市での商品の配送サービス運行などを実施してきました。また、サービス運行の更なる効率化を図るため、1人の遠隔オペレーターが複数台のロボットを運用できるシステム開発にも取り組んでいます。

本実証では、吉野家、出前館、パナソニック HD の3社で、今後深刻化が予測される配達員の人手不足の解消に向けて、自動搬送ロボットを活用したフードデリバリーサービスの実証を行います。

本実証を通じて、サービス運用の実現性やお客様の体験価値などを検証し、配送業務におけるロボット活用を進めることで、人手不足の解消や雇用創出などの社会課題の解決を目指します。

【本実証の概要】

期間:2024年11月15日~11月21日

内容:出前館のアプリ上で吉野家 湘南新道辻堂店の対象メニューを注文、決済を完了し、パナソニックHDの自動搬送ロボット「ハコボ」が公道を自動走行して配送。

吉野家 湘南新道辻堂店から Fujisawa SST 入口までは、保安員が随行。

ロボット1台を運用し、主にサービスの実現性やお客様の体験価値の検証を実施。

店舗:吉野家 湘南新道辻堂店

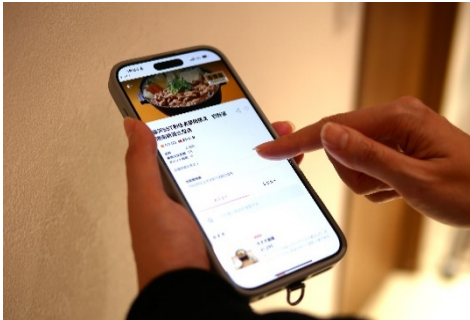
対象エリア:Fujisawa SST 内の全住宅(神奈川県藤沢市辻堂元町6丁目8番地~25番地:566戸)

【各社の役割】

吉野家 : 注文商品の準備、商品関連のオペレーション

出前館 : 注文/決済システムの提供

パナソニックHD : 自動搬送ロボット「ハコボ」および管理・遠隔システムの提供
自動搬送ロボット「ハコボ」関連のオペレーション



出前館アプリでの注文



吉野家店舗での積み込み



Fujisawa SST 内を自動走行する「ハコボ」



住宅前に到着する「ハコボ」



遠隔オペレーター